

2019年度 共同生活援助事業所ぴあ 事業実績報告書

(共同生活援助事業)

第1 総括

地域生活を希望されるご利用者が、地域において自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、ご利用者の心身の状態や一人ひとりのニーズに合わせて作成した個別支援計画書を基本に適切な支援サービスの提供を行いました。

また、地域支援事業の拠点として、地域との関りを重視した事業運営を推進するために、社会福祉協議会や自立支援協議会等の関係機関との連携強化を図りながら、ご利用者の権利擁護の強化と多様化するご利用者のニーズに対して包括的な対応に努めました。

なお、2020年2月から感染が拡大した新型コロナウイルスの対策においては、通常の感染予防対策に加えて、国や道のガイドラインを参考に必要な対策を講ずることで、ご利用者が安心して生活できる環境の維持に努めるとともに衛生管理の強化にも取り組みました。

以上のことを踏まえまして、2019年度は、次の7点を重点的に取り組みました。

1 居住支援サービスの提供

共同生活援助サービスの提供は、個別支援計画書に基づき、ご利用者一人ひとりの障がい特性やニーズに配慮した中で、基本的な日常生活動作について、合理的配慮をもって適正に支援を行いました。

2 居住環境の改善

ご利用者が安心かつ安全な生活を営むことが出来るよう、経年劣化による建物の補修や修繕等を適時行う等共同住居内外の保安全管理を推進しました。

3 ご家族との連携強化

ご利用者個々の特性や重度・高齢化等の多種多様なニーズに対応するために、各ご利用者のご自宅へ家庭訪問を実施し、ご家族との信頼関係の強化と情報の共有を通じて日々の支援サービスについて適宜改善や修正に努めました。

4 緊急時の安全対策

災害に対応出来るよう法人の防災マニュアルやBCPに基づいてあらゆる災害に対する防災訓練を行い、備蓄品の整備や動作確認等の保管管理に努めました。また、防犯対策として、防犯マニュアルに沿って点検を行い、ご利用者、職員の意識の向上に努めました。

5 ご利用者の健康管理

ご利用者が継続して地域生活が送れるよう、マニュアルに基づいた衛生健康管理対策を講ずるとともに、新たに感染症の対策としてご利用者の同意のもと各居室に加湿器の購入設置を行いました。

また、年が明けてから感染が拡大しました新型コロナウイルス感染症の対策においては、国や道及び法人本部等から示されたガイドライン等を参考に感染症対策の強化に努めました。

6 社会参加と自己決定の推進

ご利用者が生きがいを感じながら自分らしい生活が送れるように、ご利用者の意向を聞き取り、可能な範囲で希望に合わせた外出や企画を行いました。

7 業務内容の見直しと人材育成

職務分掌や係分担等の業務内容の見直しを行うとともに、職員の人材育成と適切な支援の提供を行うため施設内外の研修へ積極的に参加しました。また、ご利用者の立場に沿った支援サービスの取り組みが一層に推進できる職場環境の構築に努めました。

第2 運営組織

(1) 職員配置状況（令和2年3月31日現在）

区 分	管理者	サビ管	生活支援員	世話人	総務	計
男 性	1	1（1）	3	（3）	（1）	5（5）
女 性			8	14（6）	（2）	22（8）
計	1	1（1）	11	14（9）	（3）	27（13）

※（ ）は兼務職員

第3 ご利用者の状況（令和2年3月31日現在）

(1) 各共同生活住居における利用状況

区 分	ぴあ	えーる	はるか	ういんぐ	あゆみ	らいふ	あおば	ひかり	合計
男 性	7	4			1		6	4	22
女 性			6	6	3	5			20
計	7	4	6	6	4	5	6	4	42

(2) 障害支援区分等

区 分	障がい程度			障害支援区分							
	A	B	計	非該当	1	2	3	4	5	6	計
男 性	4	18	22	0	0	1	15	5	0	1	22
女 性	6	14	20	0	0	1	9	7	3	0	20
計	10	32	42	0	0	2	24	12	3	1	42

(3) 年齢別

区 分	～20 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70 以上	最高 年齢	最少 年齢	平 均
男 性	0	1	3	6	5	5	2	74歳	27歳	52.5歳
女 性	1	0	2	0	10	5	2	71歳	18歳	54.6歳
計	1	1	5	6	15	10	4			53.6歳

(4) 障がい別

区 分	てんかん	自閉傾向	統合 失調症	身体 障がい	ダウン症	視 覚 障がい	聴 覚 障がい	内部疾患	体幹機能	強度行動 障がい	心因反応	その他
男 性	1		4				1					
女 性	4	1	4	1		1						
計	5	1	8	1		1	1					

第4 事業と運営実績

1 事業の内容

共同生活援助事業 定員42名（男性22名、女性20名）

・共同生活住居8ホーム、サテライト型1カ所

ご利用者一人ひとりの障がい特性やニーズに配慮した中で、相談、食事の提供、健康管理、金銭管理、入浴・排泄等の介護など基本的日常生活動作については、合理的配慮をもって支援を行いました。

2 運営実績

（1）事務部門

事務係は、事業所運営の庶務、会計、管理を行い、ご利用者への間接的な支援と経営管理を行いました。

項 目	事業内容	具体的な内容
事業運営	施 設 運 営	質の高いサービス提供が可能となるよう、訓練等給付費の適正な請求事務を行なうとともに、事業における予算管理や運用についても効率的な執行に努めました。
	金 銭 管 理 の 徹 底	預り金の取り扱いは、法人施設と連携して適正な管理と運用に努めました。
	居住環境の向上	ご利用者の希望に合わせて、居室レイアウトの見直しと安全や清潔に配慮した支援に努めました。
	施設等保全管理	共同生活住居内外の経年劣化による必要な補修や修繕等について、適時対応を行い事業所等の保全管理に努めました。
	職員・ご利用者の健康管理	年2回（職員は年1回）、定期健康診断及び生活習慣病検診を実施し、ご利用者、職員の健康保持の推進と職場における心理的負担に配慮し、適宜業務分担の見直しや改善を進めました。
	食事メニューの多様化	栄養士と連携してご利用者の嗜好と季節感を反映した献立作りに努めました。
	防災・防犯計画の見直し	災害に備えて、非常災害対策計画やBCPの見直しを行うとともに、通常の避難訓練に加え各種災害等を想定した訓練と備蓄品等の点検を行い必要な対策を講じています。また、防犯対策につきましては、防犯マニュアルの点検をとおして対策の強化に努めました。
	業務改善と人材育成	職務分掌や係分担等の業務内容の見直しと各種研修会や接遇セミナー等の参加を通じて、各職員の専門知識や支援スキルの向上を行い、効率的な業務遂行と人材教育に努めました。

（2）生活支援部門

生活支援部門は、生活支援員が巡回支援等を通して、適切な支援サービスの提供に努めるとともに世話人が食事の提供や生活面における対応を適切に行いました。

生活支援サービス	個 別 支 援 計 画	ご利用者に対して合理的配慮と個別支援を基本とした支援計画に基づき適正かつ効果的にサービスを提供しました。
	生活支援の実践	生活支援員等が、ご利用者の障がい特性や年齢に配慮し、合理的配慮をもって適切に支援サービスを提供しました。

生活支援サービス	家族との連携	ご利用者の高齢化や生活状態の変化を踏まえ、計画的に家庭訪問を実施し、ご家族等との信頼関係の強化と情報の共有を通じて日々の支援サービスについて適宜改善や修正に努めました。
	関係機関との連携	就労支援施設や企業実習先、町社会福祉協議会、自立支援協議会等の関係機関と情報を共有し、包括的な支援に努めるとともに、主催する勉強会へ積極的に参加するなど、連携の強化に努めました。
生きがい社会参加	社会参加と意思決定の推進	ご利用者本人が希望した趣味的活動について、意向を尊重した企画を実施し、ご利用者が生きがいを感じながら自分らしい生活が送れるよう配慮をしました。
	高齢ご利用者に対する支援	高齢のご利用者に対して、ご本人の意向や適性、身体状況、ライフステージに応じて適切な支援に努めました。
	企業実習及び日中活動支援の充実	企業実習先等の関係機関との連携を強化し、受け入れ企業で継続的に定着が進むよう支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症に伴う対応として、感染を伴うリスクがある場合は、実習を中止するなどの対応を行いました。
保健衛生	衛生健康管理	感染症対策マニュアル等を基本とした適切な衛生健康管理に努めました。また、新型コロナウイルスの対応においては、国や道から示されたガイドラインを参考に予防対策の徹底と啓蒙活動をとおしてご利用者、職員の意識向上に努めました。
食事提供	食事サービスの充実	栄養士が作成した献立表に基づき、朝食及び夕食を提供しました。世話人とご利用者が共同で調理等を行う事で、良好な人間関係に基づく家庭的な食事環境となるよう努めました。
家族会	家族会の事務局支援	家族会と相互連携をとおして、各種事業が円滑に運営出来るように事務局支援の協力を行いました。
地域移行	自立対策	共同生活住居からの自立を希望するご利用者に対して、個別支援計画に基づき、適切に支援を行いました。

3 職員の研修、研究体制

○関係機関の主催する各研修会等の参加は次のとおりです。

研 修 事 業 名	参 加 者 名	参 加 人 数
北海道社会福祉協議会	生活支援員	1名
北・北海道知的障がい福祉協会	生活支援員、世話人	2名
その他	生活支援員、サビ管	3名

○事業所主催による各研修会は次のとおり実施しました。

研 修 名	開 催 回 数	参 加 職 員
内部研修会	4回	30名
階層別研修会	7回	12名

4 年間行事実績

令和2年度の年間行事実績は、別紙1のとおりです。